

# はじめに



わが国は、少子化の進行や平均寿命の延伸により、高齢化がますます進んでいる状況です。七尾市においては、現在65歳以上となる高齢者数は減少傾向に転じているものの、介護が必要となる可能性の高い75歳以上の人口はさらに増え続けると推計しています。

これまで七尾市においては、高齢者が尊厳を持ち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に取り組んできました。しかしながら、高齢化の進展に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加といったことが予測され、高齢者の支援体制をさらに充実することが求められております。

そのために、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築をさらに進め、高齢者だけでなく障がい者や生活困窮者など、誰もが尊重される地域共生社会の実現を目指すとともに、高齢者が健康で生きがいを持ち安心して暮らせる地域づくりを推進する必要があります。

この度策定しました、七尾市老人福祉計画・第8期介護保険事業計画「七尾市あったかプラン」では、高齢者が支援や介護を必要とする状態となっても、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができる「地域包括ケアシステム」の推進を図り、高齢者の自分らしい生き方が尊重され、生きがいと希望を持って暮らしていくことができるよう、介護予防の推進、生活支援体制の充実、医療と介護の連携推進、介護サービスの充実・円滑な運営に努めたいと考えております。

諸施策の展開にあたり、市民、事業者と協働して取り組むこととしておりますので、市民の皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

おわりに、本計画策定にあたり、貴重なご意見やご指導をいただきました健康福祉審議会、高齢者福祉分科会の委員の皆様をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げます。

令和3年3月

七尾市長 茶谷義隆